

都道府県名：群馬県

【経営の概要】

群馬県吾妻郡嬭恋村の事例（標高 約1,000m）

花木の促成栽培（ヤナギ類、桜、レンギョウ等）

共同所有の促成温室に、地中熱交換システムを導入し、低コスト化を図っている。

【対策の内容】

花木の促成は、厳冬期に加温して開花させる技術です。

外気温が -20°C 程度になる地域で、地中熱交換システムを導入している。

システムの内容

- (1) 地面を1.5~2.0m程度掘り下げる
- (2) そこに直径2cm程度の軽石を敷き詰め、パイプを通して、埋め戻す。
- (3) パイプにはファンを取り付け、軽石層に外気が入るようにしておく。
- (4) 昼間は、外気を軽石層に送り込み、地下を暖める。
- (5) 夜間は、ファンを逆回転させ、地熱を室内に戻す。

【対策の実践効果】

夜間の暖房使用時間が削減でき、省エネにつながる。

重油使用料を20~30%削減できる。

軽石は、群馬県は入手しやすいので、この技術が利用できる。

【今後の課題】

初期投資が大きい。

※ 昭和47~48年の第1次オイルショック時代に、群馬県園芸試験場で開発した技術です。現在もこのシステムを利用しており、他地域でも応用できると考えられるので、紹介します。

【問い合わせ先】

群馬県 技術支援課 普及災害係 TEL 027-226-3062